

## 平成29年度第2回 区政モニター会議 会議録（要旨）

平成29年7月27日（木）

（昼の部）午後2時～午後3時40分

区役所 別館7階B会議室

- 1 開会
- 2 講師紹介 広報課長
- 3 テーマ  
「中央区の生涯学習について」（文化・生涯学習課長）
- 4 意見・質問

意見 ○ 興味のない人を振り向かせるのは難しい。私自身も、ふとした機会に区民カレッジを知って入学したに過ぎない。区役所には何かがないと行かないし、社会教育会館などにはたくさんお知らせがあるのだろうが、行く機会がなかったり、インターネットを使わない人にとっては知る機会もない。やはり地道に広報し、町の掲示板にポスターを貼るなど、区民が目にする機会を増やしていくしかない。

文化・生涯学習課長（以下、課長） ☆ 区民カレッジなどの参加者は40代後半から60代に多く、これらの層には区報が意外と効果があるのではないかと考えている。またご指摘のとおり、町の掲示板や人づても効果があると思うので、今後も地道に広報に務めたい。

質問 ○ 社会教育会館の体育施設では、卓球は個人に開放しているが、その他はサークル等の団体にのみ開放していると考えてよいか。

課長 ☆ 築地社会教育会館だけが体育施設を持っていて、基本的には自由である。社会教育会館の主な機能である「部屋貸し」については、サークル登録が必要である。

質問 ○ 平均的な施設の空き状況はどうなっているか。もし空きが多いようなら、その改善策はどう考えているか。

課長 ☆ 平日の午前中は空きが多いが、午後は約8割の利用状況である。そのため、希望日時に利用できないサークル団体も多く、これを少しでも解消するため、毎年開催している利用者懇談会の際に、年間の利用状況の統計資料をお知らせしている。また一般の方については、サークル団体の予約抽選日の翌日から電話による先着予約を受け付けている。

質問 ○ 築地社会教育会館の体育施設は自由に見学できるのか。

課長 ☆ 利用者がある場合には基本的には中までの見学はできないが、その場合でも受付にお願いしていただければ見学できると思う。

- 質問 ○ 施設の空き状況はホームページでも調べられるか。
- 課長 ☆ 施設予約システム内で特定日の空き状況を確認することができる。
- 質問 ○ 個人で利用する場合は、電話で問い合わせるしかないのか。
- 課長 ☆ システムでの照会以外は、電話での問い合わせになる。
- 意見 ○ ホームページを見る限りでは、あまり興味を引く講座がなかった。全体的に年齢の高い層に向けた講座が多いように思う。ただ、『サークルガイドブック2017』を見たら、興味を引くものがあった。これはどこで配布しているのか。一覧表にして新聞に折り込めばいいのではないか。
- 課長 ☆ 『サークルガイドブック2017』は文化・生涯学習課の窓口や社会教育会館、区の出張所の窓口でも配布している。また、ホームページでもサークルの紹介をしている。
- 意見 ○ 区の生涯学習はサークル活動と区民カレッジが主な活動になるかと思うが、施設利用に関しては毎回抽選となっていて、なかなか希望どおりに場所を確保できないのが現状となっている。
- 意見 ○ 区民カレッジも、10年ぐらい前は歴史に関する講座が多く、参加者も70代以上が多かったが、最近は40～50代の女性の参加が増えてきた。講座については、人気があるものとそうではないもので偏りがあるように思う。自分でやりたい講座を自分で考える区民企画講座が開催されていて、最近では抽選になっている。もっと若い世代が何を知りたいかなどを考えていくと、さらに活動が増していくと思う。
- 課長 ☆ 区民企画講座は区民カレッジで養成された皆さんが中心になって講座を作るもので、区民カレッジで学んだことを生かせる場になっており、区民カレッジの成果がここに現れていると感じている。ただ、ご指摘のとおり、講座によって人気に偏りがあるため、今後も興味を刺激し、バランスのとれた講座内容としていくように留意していきたい。
- 質問 ○ 区民カレッジなど講座で何を提供するかは何に基づいて作成しているのか。過去の統計（参加率・出席率等）か、参加者アンケートか、区民からの具体的な声か。
- 課長 ☆ 講座内容については、ご指摘の3点はもちろんのこと、世間一般の興味がありそうなことなどを調べて判断し、運営している。
- 意見 ○ 私は日本語教室のボランティアをやっている。文化・国際交流振興協会の会議室でやっているため施設利用料は無料だが、他のボランティア団体は区の施設を利用する場合、利用料を払っている。ボランティアなので、これを無料にしてもいいのではという声があった。
- 課長 ☆ ボランティア活動自体はあくまでも完全な区の事業ではないので100%

の支援は難しい部分もあるが、区の施策によって生まれた活動でもあるので何らかの支援をする必要はあると認識している。例えば会場の確保の面などで協力できるのではないかと考えている。

意見 ○ 区民カレッジを本年度卒業した。受講してみて、本当に中央区の区民カレッジは内容が充実していると感じた。最近では参加者の年齢層が広がってきており、講座の競争倍率も高くなっているようだ。受講者は楽しく受講し、感謝の気持ちを持っていると感じた。

課長 ☆ 今後も、今のようなお声をいただけるよう、区民カレッジの質を落とさないように努めたい。

質問 ○ 資料を見たり説明を聞くまでは、生涯学習とは現役を退いた方々が行うもので、若い世代は行ってはいけないというイメージだったが、実はそうではないとわかった。区として年齢に関して主なターゲットを決めているのか。

課長 ☆ 区が行う区民カレッジなどでは18歳以上の成人を対象としている。ただ、生涯学習の中には区民の皆さんが自主的に行うサークル活動があるが、ここでは18歳以下の子どもを対象にしているものもある。

質問 ○ 一般登録団体や社会教育団体にならなければ、予約システムで、施設の空き状況を見られないのか。横浜市では事前登録なしでも見ることができるので、空き状況を確認した上で、会員登録して予約しようという気になった。

課長 ☆ 不確かな記憶だが、空き状況だけなら事前に会員登録しなくても見られるかもしれない。システムから施設を予約するには、確かに団体での会員登録が必要になる。

意見 ○ 生涯学習のもとになる学校教育の場に社会人が参加でき、例えば中学校の社会科の授業を受けられるようになれば、もっといいと思う。学生にも刺激を与えることになり、相乗効果があるのではないか。

課長 ☆ 個人的には共感できるご意見だが、実現はなかなか難しいと思う。区民カレッジでは、例えば他団体が実施している講座などで区民に役立つと思われるものを単位に組み込んだりもしている。この意見は非常にアイデアが生まれそうな話だと思う。

質問 ○ 参考資料の中で、文化学習施設を利用したことがない区民が63.6%という数字があるが、あまりにも漠然としている。男女別、年齢層別、職業別など内訳はないのか。実体が分かると意見や質問をする際に役立つ。

課長 ☆ 文化・生涯学習課が直接行った調査ではないので、ご指摘のような内訳は把握していない。

意見 ○ 生涯学習の目的あるいは理想としては、そこで学習した成果を地域で生か

すこと、例えばボランティア活動に役立てるとか、子どもにシニア世代の経験・知恵を伝えることだと思うが、現状の区民カレッジの講座内容を見ると趣味に関するものや、何年も同じ内容でマンネリ化しているものがあるのではないかと感じる。アンケートに基づいて、講座をローテーションで刷新し、何年かに1回は全部見直しをしたらどうか。講座の内容は、区の歴史に関するものや、2020年のオリンピック・パラリンピックに向けて外国語講座を充実させるなどの工夫をしてはどうか。

課長 ☆ 講座内容に関しては毎回アンケートをとっているが、それを分析に生かしているかは検討の余地があり、今後の課題である。また講座の新陳代謝とそのため講座の企画・作成のスキルアップは必要だと思うので、取り組みの中で考えていきたい。

意見 ○ 中央区に来て2年経つが、区報などを見て中央区には様々な講座やサークルがあることを実感している。去年の秋に外国人おもてなし語学ボランティア講座を受講したが、本当にすばらしくためになった。またあったら参加したい。

意見 ○ 講座の募集は年2回（1月と8月）の限られた期間しかやっていないが、各講座は定員いっぱいになるのか。もし講座の出席率が悪く、定員に空きがあるようなら、途中から受講できるように追加募集をしていただけるとうれしい。主な参加者の年齢層は40～50代か。

課長 ☆ 各講座の出席率は7～9割といったところである。途中からの受講については講師とも相談する必要があるが、案として生かしていきたい。参加者の年齢層は50～70代が中心である。

意見 ○ 中央区の区民カレッジの内容は本当に充実していて、今後も継続していただきたいと思うが、一つお願いしたいのは、いくつかの講座にある託児の条件が2歳半以上の子どもとなっている。これを0歳児も預かってくれたら、若い世代が参加しやすくなると思う。ママ友とも話をすると、0歳から託児が出来ないというのがネックになっている。

課長 ☆ ご意見ありがとうございます。

意見 ○ 毎年同じことをやっているのならば意味がないと思う。23区の中でも、何か新しい、「私はこれをやりました」と自信を持って言えることに取り組んでいただきたい。

課長 ☆ これまでも皆さまの声を参考にし、いいご提言があった場合には取り入れるなどして仕事に取り組んできたが、今後もおごることなく頑張りたい。

意見 ○ 区民カレッジはとてもいい仕組みで、内容もさらに充実していただきたい。

そのためには、できるだけ色々な施設を使って、幅広いメニューを用意していただきたい。

課長 ☆ 常に新鮮さを感じていただけるような講座の構成を心がけたい。

意見 ○ 知人がスポーツ関係の講座に関する要望をスポーツ課に電話して述べようとしたが、その講座は民間に委託しているため、電話番号を教えるのでそちらに連絡してほしいと言われた。確かに直接、運営する民間団体に話したほうが効率的なことはわかる。また区民カレッジ等の企画立案も民間に任せたほうがよいものができるというのもわかる。しかし、民間委託している場合でも、区も区民の声を聞いておくという対応があってもいいのではないか。

課長 ☆ スポーツ課が具体的にどう対応したかはわからないが、私たちに相談が来た場合には直接、声を聞くようにしている。また年1回、利用者懇談会を開催して、民間委託している事業についても、私たち行政が直接、利用者からお話を聞く機会を設けている。また区民カレッジの企画立案については、ほぼ全部の講座を区で企画立案しているが、一部の趣味の講座では民間のノウハウを借りることがある。

意見 ○ 他部署が管轄・運営する施策・施設に関しても、文化・生涯学習課が、区民の声を聞いた上で、区民の立場に立って、区民の要望を伝えていただきたい。そうしないと、管理部門は、いつも「できません」で終わらせようとする。例えば柏学園では、原発事故以来、薪の使用が禁止になり、いつの間にか窯もなくなってしまったが、子どものためにも薪を使わせたいという区民は多い。おそらく近隣住民への迷惑に配慮して薪の使用禁止となっているのだろうが、そういう区民の要望を文化・生涯学習課が伝え、生涯学習のアピールをしていかないと、せっかくある施設のよさが生かされないと思う。

課長 ☆ 柏学園の薪使用禁止については、ご指摘のとおり、近隣住民への迷惑に配慮して、現在は行っていない。この点は今後も変わらないと思うが、そういう状況でも、サマーキャンプ（少年リーダー養成講座）では、火の扱いの大切さを教えるため、青少年委員と協力し、工夫しながらやっていく。

意見 ○ 資料を見ると、プレディという言葉がよく出てきて、子どもの居場所づくりのために行われていることはわかるが、実態がわからない。区政モニターとしては実態がわからないと意見も言いづらいので、施設見学会の中に入れていただきたいかった。その点、高齢者問題を扱う第4回会議に向けて、勝どきおとしより相談センターの見学が予定されていることはとてもいい。

広報課長 ☆ 施設見学会は、もともとは区の新規施設を紹介することが主目的だったが、昨今、新規施設ができなくなったので、最近では、区政モニター会議のテーマと連動して行うようにしてきた。ご指摘のプレディも含め、今後も幅広く見学の機会を設けるように検討していきたい。

- 質問 ○ かえで学級は義務教育（小中学生）を対象にしているか。
- 課長 ☆ していない。中学校を卒業した生徒が対象になる。
- 意見 ○ 昔、少年リーダー養成事業で、知的障害児が参加希望をされ、保護者ともよく話し合い、熟慮の上、参加のお断りをしたと聞いた。確かに当時は受け入れ態勢も整っていなかっただろうから、その判断が間違っていたとは言わないが、今後に向け同様なケースがあった場合、しっかりと受け入れられる態勢づくりを検討していただきたい。
- 意見 ○ 区民カレッジ等の講座終了後に、アンケートを行っている。あのアンケートは非常に短時間で書かなければいけないし、特に今後希望する講座などは無回答のものがほとんどだ。これではあまりに形式的なので、もっと実のあるアンケート方式を検討したほうがいい。
- 意見 ○ その1つの方法として、アンケートの欄外にでも、詳しいご意見をホームページでも募集していますと書いておいて、時間のあるときに、ホームページで書き込めるようにしておくのもいいかなと思う。
- 意見 ○ 時々、区による無作為抽出のアンケート調査が行われるが、あれも回答率はあまり高くないと思う。高くするためには、例えば中央区の観光絵はがきなど、何か返礼品があればいいかなと思う。
- 意見 ○ 区立図書館は生涯学習においても重要なため、もっと有効活用してはどうか。例えば区の歴史遺産や文化などに関する講座や意見交換会を図書館で定期的に開くとか、大学や民間と連携して講座を行うなどしてはどうか。
- 課長 ☆ 現在、郷土資料を管理している郷土天文館とは共同で取り組んでいるが、図書館とも今以上に共同して取り組んでいきたい。現在、図書館の資料を利用して、組んでいる講座もある。
- 意見 ○ 区民カレッジは18歳以上を対象にしているとのことだが、例えば小中学生向けにコンピューターのプログラミング学習講座を開設すれば、とても有意義ではないかと思う。
- 課長 ☆ 文化・生涯学習課で扱う生涯学習のうち、区民カレッジは実は1割程度のウェイトにしか過ぎない。区民カレッジは18歳以上としているが、その他の生涯学習でサークル団体が行っているものには18歳以下を対象にしているものがある。区としては、そのようなサークル活動を支援し、数を増やすことで、間接的に子どもが参加できる機会を増やしたいと考えている。ご提案のプログラミング学習も、その分野が得意なサークルがあり、協力を得られれば実現可能だと思う。
- 意見 ○ 浜町総合スポーツセンターの子ども向けリトミック教室に落選したが、サークルガイドブックにはリトミックサークルも載っているので、サークルの

案内もあつたら集客に繋がるのではないか。また、英語の講座についても同じなので、違う課が連携していったら有効なのではないか。

課長 ☆ 参考にする。

— 了 —